

施設紹介

メディセオホールディングス 薬事情報部

- 医薬品卸企業における医薬品情報 -

株式会社メディセオホールディングス 薬事情報部

竹村 秀明

はじめに

株式会社クラヤ三星堂薬事情報部は、平成 16 年 10 月 1 日より株式会社メディセオホールディングス薬事情報部としてスタートした。組織としては、薬務統括、学術企画、医薬情報、薬事研修、管理支援、PMS、DIの7つのグループで構成されている。薬事法ならびに関連法規遵守の指導、販売戦略推進の支援により営業部門のバックアップ、PMS業務、グループ卸の薬剤師育成およびMS教育並びに収集した情報をイントラネットやインターネットを通して提供していくという多岐にわたる業務を部員約 80 名の薬剤師で取り組んでいる。

1. 薬事情報部が提供する情報について

薬剤師の大きな仕事の一つに、様々な製薬企業の医薬品を取扱うという医薬品卸企業の立場に立って、病院・診療所・薬局等から依頼を受けて調査するという業務がある。この業務は医薬品の範囲にとどまらず、テレビ番組などで取り上げられた健康食品をはじめ、試薬や診療報酬などといった多種多様な問合せに対応している。

薬事情報部では、収集した情報や作成した情報を、「メディセオジャーナル (旧薬報)」や「DI実例」などという形で医療機関等に情報提供を続けてきた。現在では、こ

れらの紙媒体での情報提供と併行して、イントラネットおよびインターネットでの情報提供に力を入れている。

様々な検索機能、コンテンツの開発、情報の速報性も重要であるが、蓄積された情報のメンテナンス業務もあり、系統的に日々更新の作業も重要な業務のひとつとなっている。

2. 各種医療機関・薬局等からの問合せに対応

卸の医薬品情報は、先に述べたように、医薬品の有効性・安全性に関する情報だけにとどまらず、健康食品、試薬、医療機器、医薬品や医療に係る法規、診療報酬など極めて幅広い問合せに対応している。多岐にわたる情報範囲を偏らず中立的な立場からより正確に情報提供する責任があることを認識し、日々情報の収集・整理・蓄積を行っている。医療機関から受ける電話問合せは、2003 年度 (2003.4 ~ 2004.3) では年間約 38,000 件で、営業所の管理薬剤師が対応している件数も含めると約 137,000 件に及び、インターネットの普及もあり問合せ件数はここ数年落ちてきている。

薬事情報部に寄せられる問合せ内容について、以前は、薬剤識別や入手方法・代替商品紹介が圧倒的に多く、次いで用法・用量、相互作用・副作用の順になっていたが、現在は、図1のように入手方法・代替商品紹介、用法・用量、

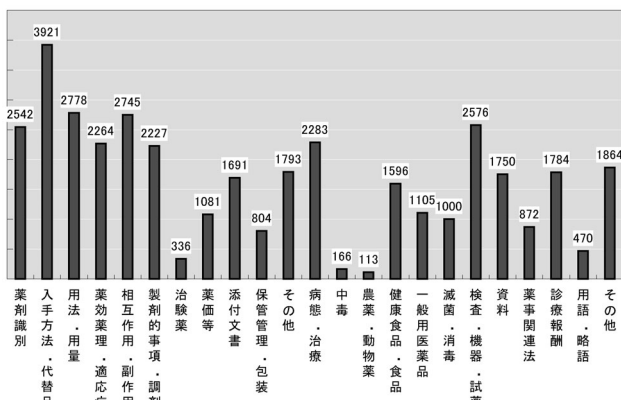


図1 2003年度薬事情報部質疑応答件数



DIグループの問合せ対応風景

相互作用・副作用、検査・機器・試薬、そして薬剤識別の順となっている。

また、問合せ先の割合をみると、薬局が最も多く(49%)、次いで病院(26%)、診療所(17%)、その他(8%)となっており、薬局からの問合せ割合が年々増加傾向にある。

3. IT活用による情報提供システム

薬事情報部は、社内イントラネットやインターネットシステム(e-mediceo.com)を利用して、日々の業務に活用できる情報の提供を行っている。

(1) 社内向けの情報提供システム

社内向けの情報提供システムとして、社内イントラネット(通称フルーツネット)の薬事学術掲示版およびDI検索(社内情報検索システム)が挙げられる。情報は日々更新され、医療機関などからの問合せ対応やMSによる情報提供には不可欠なツールとなっている。(表1)

(2) 社外向けの情報提供システム

社外向けの情報提供システムとして、医師・薬剤師などの医療従事者限定の登録制無料インターネットサイト「e-mediceo.com(旧 medks.com)」(2001年2月に公開、2004年8月現在登録者数約50,800人)があり、当社ではe-mediceo.comを『医療に関する物品・サービス・情報の調達チャネル』として位置づけている。薬事情報部からはこのうちの「DIweb」と「疾患別処方解説」の2つのコンテンツを提供している。

「DIweb」は、メディセオホールディングスオリジナル情報を中心とした34,000以上のデータの集積である。医療の現場に直結した様々な情報を掲載し、データ登録や更

メニュー	コンテンツ
薬事学術掲示版	トピックス、Q&A、製品情報、ヘルスケア情報、製造承認情報
DI検索	添付文書情報、包装変更情報、薬剤識別情報、JAPIC文献情報、MSDS情報

表1 社内イントラネットで提供しているメニュー



図2 DIwebのトップ画面

新を毎日行っている。(図2)

「疾患別処方解説」は、第一線の医師による疾患および処方解説のデータベースであり、処方解説の他に処方薬剤の臨床薬理データの参照が可能である。自治医科大学学長高久史磨先生に総監修いただき、当社への問合せの多い疾患から着手してきた。2004年10月現在27疾患を公開中である。

なお、コンテンツのひとつとして「phub」もある。phubは英語の「Pharmacy」と「hub(ハブ)」を合わせた造語で、記事を読むという受動的な姿勢にとどまらず、読者同士が情報交換できる場を提供することにより積極的に問題解決の糸口を探ったり、ネットワークを形成していただくことをコンセプトとしている。主に保険薬局の経営者を対象としたオンラインマガジンである。

4. インターネットサイト「e-mediceo.com」 (http://www.e-mediceo.com/)

情報提供システムの一部は、従来社内用情報提供システムとして運用していたデータベースを医療機関のニーズに合わせて再構築・開発を行ってきた。それらはIT利用により社内での有効活用に加えて、誰もが利用できるシステムとして外部のユーザーにも利用が可能となっている。

当社ではこれまで築きあげてきた医療機関との取引関係にインターネットを取り入れ、より広く医療機関のニーズや情報を収集し、それを必要としているところに提供することまた卸機能の一つとして重要な物流基盤とインターネットの融合による医療機関の受発注業務の効率化を図る事を目的としてe-mediceo.comを立ちあげた。また、新規コンテンツとして「添付文書検索システム」も追加公開している。

(1) 速報性が求められる情報

薬価収載情報、医薬品・医療用具等安全性情報、緊急安全性情報など

上記のような情報は特に速報性が求められる。情報入手には最大限の努力を払い、薬価収載情報は告示日の午前中に、そして医薬品・医療用具等安全性情報、緊急安全性情報は発表当日にデータを登録している。

トピックス

診療報酬改定(2004年3月)や、新たに医薬部外品へ移行される製品について(2004年7月)など医療従事者の関心や要求が高いものについては、できるだけ早い時期にデータを取りまとめ、トピックスとして提供している。

(2) ユーザーニーズに対応した情報提供

OTC一覧表、健康情報など

開局薬剤師などが求める情報として、OTC情報などがある。OTC医薬品の一覧表は、卸ならではの情報提供の一つと言えよう。また、「笑いと健康」といったトピック

スそのまま印刷し、顧客に渡せるようなデータとして「健康情報」も好評を得ている。

包装変更情報

2002年11月1日に追加した。製薬企業からの情報が入手しにくいと思われる薬局などから包装変更に関する問合せが多くなってきたため、社内イントラネットで展開していたデータベースを再構築し、情報提供を開始した。

添付文書検索

2004年8月2日より、新規コンテンツとして追加した。月に2回、最新の添付文書情報として更新している。AND・NOT・OR検索の条件設定が可能な39の検索項目からなり、検索結果の一覧から、表示したい添付文書項目の添付文書データの画面表示とダウンロード(CSV方式)が選択できる。

薬価収載情報全データ/経過措置品目全データなど

薬価収載などは定期的に行われ、また緊急収載などがあり、そのデータ量は膨大なものとなる。当社では収載の都度データを集約し、「全データ」として「CSV形式」で提供している。利用頻度の高いコンテンツのひとつである。

(3) メンテナンスの必要な情報

薬効別品目一覧表

卸ならではのオリジナル情報として、市場に出ている主な医薬品について適応症・用法用量などを薬効別に比較した「薬効別品目一覧表」がある。これらは常に新発売、添付文書の改訂などに併せて更新する必要がある。

「Drug Information Diagram: DID」

DIDは「定期的な血液検査を要する薬剤」「授乳中投与禁忌又は授乳の一時中止が必要とされる薬剤」といった各テーマごとに作成している一覧表で、これも添付文書の改訂時に更新が必要な情報である。

疾患別処方解説

専門医による解説(本文)の他に参照資料として本文中に記載されている医薬品や特定保険医療材料、医療用具な

どのデータを提供。添付文書の改訂に併せて随時データを更新。また、公開後、処方スタンダードが変更された疾患については、解説の改訂を行っている(表2)。

(4) 蓄積性が求められる情報

[Q&A、略語辞書、行政等の発文書・ガイドライン、安全性情報など]

当社作成の医療・医薬品情報「Q&A」は現在約3,200データがあり、医療・医薬品関連の「略語辞書」は約3,350データをもっている。このほか医薬品・医療用具等安全性情報、緊急安全性情報などは、過去に遡って情報収集しデータベース化した。発文書などは日々厚生労働省などのホームページをチェックし、日本薬剤師会雑誌などからも情報入手しデータ作成をしている。

5. 最後に

病院・診療所・薬局等においても情報収集の手段としてインターネットによる情報収集が認知されてきている中、e-mediceo.comのアクセス件数も増加しつつある。こうしたユーザーニーズに適切に対応し、迅速に情報提供でき、そして誰でも閲覧できることはIT化の大きな特徴といえる。限られた時間の中で質の高い情報を収集をしなければならぬ医療従事者のニーズに応えるべく今後も大いに検討をしていく必要があると考える。

中立的な立場として、医療機関等からの問合せに対応すると共に、商品や情報を偏りなくインターネット上に掲載し、それらを比較検討できるような場を設けていくことは、医薬品卸企業としての存在価値を打ち出せるものと考えている。ユーザーニーズを把握し、ITを取り入れ、卸独自の情報提供の形を作り上げて行くことは、『患者さんのための医療』に貢献できるものと確信している。

呼吸器系疾患： 気管支喘息(改訂) 市中肺炎 かぜ症候群 - 小児 結核(改訂) かぜ症候群とインフルエンザ 循環器疾患： 高血圧症 消化器疾患： 消化性潰瘍(改訂) 慢性肝炎 腎・泌尿器疾患： 腎不全と降圧療法 前立腺肥大症	代謝疾患： 高尿酸血症・痛風 高脂血症 糖尿病 - 経口剤 糖尿病 - インスリン治療(改訂) 神経・精神・心身医学的疾患： 頭痛 うつ病の薬物治療 パーキンソン病 睡眠障害 こどもの発熱とそれに伴う痙攣	膠原病と類縁疾患： 慢性関節リウマチ 整形疾患： 骨粗鬆症 皮膚疾患： 褥瘡 アトピー性皮膚炎 婦人科疾患： 更年期障害 尿失禁 眼・耳鼻咽喉疾患： アレルギー性鼻炎 - 花粉症 緑内障
--	--	---

表2 疾患別処方解説のコンテンツ一覧